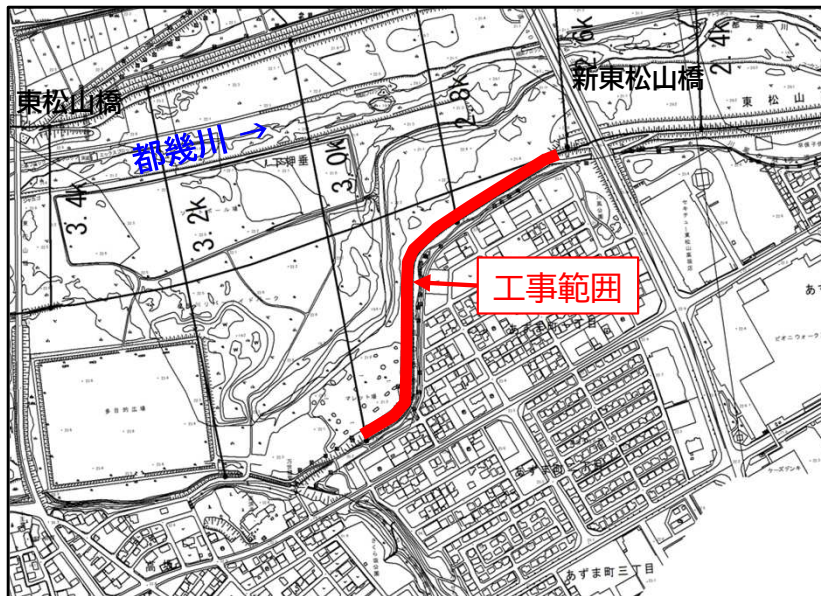


斜め写真

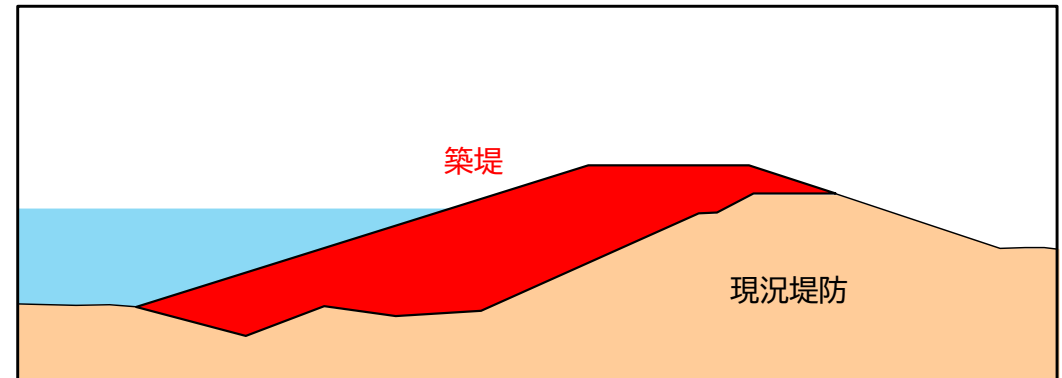


○着手:令和3年4月  
○完了:令和4年6月

平面図



標準断面図



凡例  
[Red line] 工事範囲

工事の目的

堤防の高さと幅が不足する区間において、堤防整備を実施します。



「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより



写真① 新東松山橋から上流付近



写真② 都幾川右岸側3.0付近

## 主な環境情報

- ・調査範囲内は、主に樹林地、草地、堤防で構成されています。
- ・樹林地は、主にムクノキ、エノキ、クヌギなどが優占する落葉広葉樹林やアズマネザサなどで構成されています。林縁にはゴマキが生育し、やや湿った箇所ではミコシガヤなどが確認されています。動物では、シュレーゲルアオガエル、ハグロトンボ、オオルリなどが確認されています。樹林地を流れる都幾川旧流路の水辺では、小動物やアレチウリ、オオカワチシャが確認されています。
- ・堤防の草地は、セイバンモロコシ群落で構成されている。草本群落には、ヤブカンゾウ、ミゾコウジュが生育し、ジャコウアゲハ、キツネなどが確認されています。
- ・堤防の法面や法尻、林縁付近の草地や旧流路沿いの水辺付近などでは、重要種(植物)が確認されています。

## 環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施します。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有します。ゴマキ、ミゾコウジュについては、移植を検討します。